

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第99号
平成30年12月1日



学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-6476-8811(代)

聖徳学園ホームページ

http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学 大学院
- 聖徳大学 教職大学院
- 聖徳大学 短期大学部
- 聖徳大学 幼児教育専門学校
- 聖徳大学 附属女子高等学校
- 聖徳大学 附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学 附属女子中学校
- 聖徳大学 附属女子小学校
- 聖徳大学 附属第二幼稚園
- 聖徳大学 附属成田幼稚園
- 聖徳大学 附属浦安幼稚園
- 聖徳学園 三田幼稚園
- 聖徳学園 八王子中央幼稚園
- 聖徳学園 多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

十一月十七日(土)・十八日(日)、聖徳大学で第五十四回聖徳祭を行いました。今年度のテーマは「咲き誇れ!千紫万紅の花々よ」。四季折々に咲くさまざまな花を聖徳生に見立てています。また、「咲き誇れ!」の力強いフレーズは、「花に例えられた学生一人ひとりが新しいことにチャレンジし、躍動し、自分自身の成長を感じる事ができる聖徳祭になるように」という願いが込められています。

学生から募集した聖徳祭ポスターは、六十点の作品が寄せられ、学友会(自治会)役員と聖徳祭委員を務める教員が選考した結果、児童学科小学校教員養成コース四年の高橋結さんの作品が選出されました。選出されたポスターは、松戸駅近郊の商店街の協力により多くの店舗に掲示され、学内外が聖徳祭に向けて活気づいていきました。

短大総合文化学科の「千産千商」では、フード調理ブランドの学生が企画開発し、地元のと菓子店「峰月」で商品化した「ときめく♡どら焼き」や「万葉軒」で商品化した「千葉のめぐみ弁当」が販売されました。デザイン・イン・テリアブランドの学生が制作したかわいらしい包装紙のデザインと共に好評を博しました。ほかにも各学部・学科が専門性を生かしたさまざまな企画を展開しました。

今年度は、松戸市内の人氣飲食店「中国料理 天廣堂」と「和菓子所 八矢庵」を招いて「松戸市名店コラボ企画」を初めて行い、来場者は地元で愛されるおいしい料理や菓子を堪能しました。また、学友会本部は、聖徳祭の華やかな幕開けを飾った開会式や、卒業生が一堂に会した「ハッピーホームカミング」、多くの来場者が参加したクイズラリーなどを企画・実施しました。中でも一日目に行われた中夜祭では、今年度のテーマである「咲き誇れ!千紫万紅の花々よ」をキーワードにしたスライドショーや、総合文化学科ファッションブランドの学生と有志による各国の民族衣装をテーマにしたファッションショーや抽選会などが行われ、大いに盛り上がりました。

川並弘純学長は告示の中で、「聖徳大学大学院は、単に研究者や高度職業人になるためのものではなく、実践の場である。高い学びへの意識を持つてそれぞれ

秋学期入学生二十一名を代表して、児童学研究科の白田未歩さんが「高度の研究能力およびその基盤となる豊かな学識を養うべく、日々研鑽してまいります」

と宣誓しました。また、同日一時から、平成三十年度秋期聖徳大学大学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学部卒業証書学位記授与式を同日大川並香順記念講堂で執り行いました。今期卒業修了したのは、大学院五名、大学百八十八名、短大三十一名。川並学長は「自ら新しい価値観を創造できる人となり、世の中を導いてほしい。待っているは何も起らない。自ら判断し、自ら一歩を踏み出す勇気を持って、社会に羽ばたいてください」とはなむけの言葉を贈りました。



正門アーチ



学生開発のどら焼きを販売(総合文化学科)



ファッションショーを行った学生たち



聖徳大学大学院入学式



川並学長(右)から学位記を受取る大学院修了者

第五十四回 聖徳祭 「咲き誇れ!千紫万紅の花々よ」

INDEX

学園	27
大学院・大学短大	1 2 3 4
幼児教育専門学校	4
附属女子中・高	4
インフォメーション	7 8
取手聖徳女子中高	5
幼稚園	5
インフォメーション	6

平成三十年 秋の叙勲 受章者

十一月三日付で平成三十年秋の叙勲受章者が発表され、本学園関係者より一名が受章しました。

瑞宝小綬章 (文部行政事務功労)

吉田 眞言
元 聖徳大学事務局長



平成三十年度 千葉県栄養改善大会における 栄養改善関係功労者知事表彰

多年にわたり栄養士の養成に貢献したことにより、九月二十七日(木)、平成三十年度千葉県栄養改善大会において千葉県知事表彰を受けました。



聖徳大学人間栄養学部 横井 克彦 教授

献血協力団体 日本赤十字社表彰

多年にわたり赤十字事業(献血)の進展に尽くし多大な貢献をしたとして、十月二十四日(水)、聖徳大学・聖徳大学短期大学部は、平成三十年度千葉県献血感謝のついでにおいて、日本赤十字社より表彰を受けました。



日本赤十字社銀色有功章 団体(活動十五年以上)

聖徳大学海外研修報告

聖徳大学では、建学の精神「和」に基づく人間教育の一環として、国際的視野に立って理解力、感性、知見を得るための海外研修を各学科またはコースごとに実施しています。今回は、音楽学部の二学科と、児童学部児童学科児童文化コースの旅行を紹介します。

音楽学部演奏学科・音楽総合学科 海外研修旅行「音楽の故郷を訪ねて」

九月十一日(火)から二十日(木)までの十日間、演奏学科・音楽総合学科学生二十八名が初秋のフランスのパリ、オーストリアのウィーンへ研修旅行に出かけました。

「パリ」

○「花の都パリ」のシンボル、エッフェル塔や凱旋門へ青空の下でエッフェル塔、凱旋門を眺め、シャンゼリゼ通りを歩いてパリジェンヌ気分を味わった。照明デザイナーの石井幹子先生によるエッフェル塔のライトアップも見学しました。



快晴の空とエッフェル塔を背景に

○新旧の音楽が交錯するパリの醍醐味を堪能
パリ国立高等音楽院と「生きた音楽史」の並ぶ付設の楽器博物館を見学。同日パリ管弦楽団のシエズン開幕公演を鑑賞しました。一方、オペラ座(ガルニエ宮)の内見学では、音楽と都市の長く密接な歴史に触れました。

「ウィーン」

○「音楽の都ウィーン」でたどった楽聖たちの足跡
シューベルト(生家)、ベートーヴェン(散歩道、遺書の家、バスクア



クルト・シュミット先生のレクチャー

○ウィーン国立音楽大学でのレクチャー受講
ワルター・フライシユマン先生(ピアノ演奏技法)、クルト・シュミット先生(音楽史関連)のレクチャーを受け、知的好奇心を刺激されました。

○ミサ、オペラ

王宮礼拝堂でのミサに参列し、ウィーン少年合唱団とウィーン・フィルがモーツァルトの作品を演奏する本格的なミサを体験しました。また、ウィーン国立歌劇場ではヴェルディの《椿姫》



ウィーン国立歌劇場にて

を鑑賞。ウィーン楽友協会、シユテファン大聖堂を巡り、社会生活に息づく音楽の神髄を体感しました。

児童学部児童学科児童文化コース 海外研修旅行「イギリス研修旅行」

十月九日(火)からの十日間、児童文化コースの学生はイギリスで研修を行いました。スコットランドの小学校と、バース近郊のノーランド・カレッジを訪ね、日本の教育や自分の教育観を見つめ直す良いきっかけを得ました。

そのほかには、児童文化コースの特色である「遊び」と「児童文学」に関連する施設等を訪ねました。遊びを学ぶために訪問したのは、「V&A美術館」子ども博物館



イギリス文化遺産プレナム宮殿の前で

館、「ホーニマンズ冒険遊び場」障害を持つ子どもたちの遊びの施設、おもちゃ



ホーニマンズ冒険遊び場

や図書館。冒険遊び場は、子どもが整頓された公園よりも自分で工夫できる廃材置き場を好むことに気付いたデンマークの学者によって提案され、イギリスの「冒険遊び場運動」へと展開しました。学生たちは遊具で遊んでいるうちに、「大人が子どもの遊びを止めてしまおうと、挑戦する気持ちや危険に気付く力が阻害してし

まうのではないかと「子ども側の強い意志も必要」と気が付いたようでした。児童文学については、「ピーターラビット」の故郷である湖水地方「不思議の国のアリス」や「ナルニア国物語」シリーズが書かれたオックスフォード、「くまのプーさん」の百エーカーの森、「ピーター・パン」や「くまのパディントン」のロンドンを使って「ハリー・ポッター」が書かれたカフェを見に行ったり、絵本を買ったりする学生もいました。児童文学の文化背



「くまのプーさん」の棒投げ橋

景を知ること、作品への理解が深まったようです。旅の終わりに、学生たちは旅を支えてくれた方への感謝や温かく迎えてくれたイギリスの方々への感謝を

語っていました。「自然と歴史を大切にしているイギリスの文化に触れて、心の豊かさについて考えました」と語る学生もいました。若く柔軟な感性で学生一人ひとりが気付いたことは、これから出会う子どもたちにも還元されていくことでしょう。また卒業後の旅路を支えてくれることでしょう。(児童学部准教授 柏村 裕子)

授業紹介 心理・福祉学部心理学科 「フィールド学習」 「ひだまり班」の活動報告

聖徳大学心理福祉学部心理学科では、学生が教室で身に付けた心理学の知識・技能を生かして現実社会で生じている問題に取り組み、解決する力を養うPBL(Problem Based Learning)として「フィールド学習」(二年次生対象)を取り入れていきます。今年度、学生は四つの班に分かれ、それぞれが連携先(千葉県男女共同参画課DV対策班、松戸警察署、松戸消防署、子ども居場所「ひだまり」と連絡調整しながら、取り組みを進めています。今回は、十月より週に二日実地活動を行っているひだまり班について報告します。



子ども居場所「ひだまり」事務局長の岩根宏氏による講義

ひだまりは「不登校問題を考える東葛の会」が平成十五年より開設している不登校および不登校を経験した子どもたちの居場所です。ひだまり班の九名の学生は活動開始に備えて四月から不登校とその支援に関する事前学習を大学で進め、七月にはひだまり事務局長の岩根宏氏よりひだまりの活動概要の講義を受けました。十月からいよいよ実地活動の開始です。新規の環境や子どもたちとのさまざまな相違(性別、年齢、生活環境、興味関心など)に直面し戸惑いながらも、学生たちはこれまで得た知識や技術を駆使し「この経験を活かしたい」と意欲的に相違を楽しんでいます。今後、ひだまりを軸としてその運営に参画しながら、課題発見とその解決に貢献していく予定です。

授業紹介 総合文化学科「キャリアアスタディ」

松戸市・南房総市で 地域のイベントを支援

聖徳大学短期大学部総合文化学科では、授業の一環として、毎年さまざまな祭りの運営にグループに分かれて参加しています。

十月六日(土)、七日(日)は、松戸駅周辺で、「松戸まつりイン2018」がありました。今年も中央公園のステージや高砂通りの聖徳フェスティバルの進行の補助、バリアフリーまつり市民会議のコーナーの手伝い等を行いました。



カルタ遊び(南房総市シラハマ校舎)

十四日(日)は、松戸市小金の東漸寺で「小金宿ぶらり市」がありました。ミニSLのコーナーで、子どもたちに乗り方の説明をしたり、じゃんけんを勝った子どもたちに運転手の帽子を渡す役割を担当しました。



ミニSLに乗る子どもの切符を切る学生(小金宿ぶらり市)

そうにして、手を振る子どもたちと笑顔で見守る保護者の方々。地域の祭りならではの雰囲気を感じました。これらのお祭りの手伝いを通して、学生たちは、貴重な機会となりました。

幼児教育専門学校

三田幼稚園との 合同運動会を開催

十月三日(水)に本校の第一部二年生と聖徳学園三田幼稚園との合同運動会を港区芝公園グラウンドにて行いました。予定日の



本校学生の入場

九月三十日(日)に雨天中止となり、予備日の開催となりました。この日は天気恵まれ、比較的涼しい中で快適に体を動かすことができました。

一年生は授業の一環として全員が運営役員となり、競技進行・放送の係に分かれ、それぞれの担当を担いながら全体の動きを観察し運動会の運営方法を学びました。事前の打ち合わせでは、三田幼稚園の教員から競技の準備や運営方法などを見本や実演を交えて教わり、その上で各自予習を行いました。



来賓競技「おととつ!!」

運動会当日、学生たちは、緊張しつつも笑顔で準備する姿勢が見られました。運動会は大いに盛り上がり、園児最年長の松組のリレーでは、ゴール付近で追い抜いて逆転した場面

は、会場中から盛大な拍手が起きました。学生たちはフォークダンスでは園児に明るく声を掛けながら、「お姉さん先生」として踊り、来賓競技「おととつ!!」では看板に乗せた大玉を落とさないように教員と二人一組

で息を合わせ、一緒に競技を楽しみました。また、競技の合間にも園児の様子や保護者役員の動き、幼稚園の教員の連携を観察しました。



休憩時間の1コマ

運動会の準備から運営を一通り体験し、園児との関わり方や教員の動きを実地で学んだこの日の経験は将来、現場で大いに役立つことでしょう。

九月四日(火)から七日(金)まで、中学一、二、三年生が本学園のセミナーハウスで、北蓼科高原体験学習を行いました。全学年合同での実施は今年度が初めてです。夏休み明け二日後の出發で、事前指導の時間を取れませんでした。三年生は入退館式の司会、食事の配膳、朝礼の運営、入浴の片付けなどで、リーダーとして下級生の手本となりました。二年生の山尾唯曉さんが体験学習を振り返った作文(抜粋)を紹介します。

一つ目「時間と予定、班員の状況を常に把握する」、二つ目「どんな状況でも自分のできる最善のことをす

る」、三つ目「周りへの感謝の気持ちや忘れないこと」の三つの目標を実践していくにあたって、私は「みんなと協力すれば一つのことをより良い形で実行できる」と「あらゆることに全力で取り組む」と、その分学びも大きなものになること「陰で支えてくださっている人がいてこそ学びが成り立っていること」を改めて感じることができた。来年は中学校最高学年となり、後輩の手本を示す立場となる。今回の北蓼科高原体験学習で学んだ三つのことを心に刻み、



来年また新たな学びが増やせるように努力していきたい。

中学全学年合同で北蓼科高原体験学習を実施

第36回 聖徳祭を開催 「ミラクル ~Something may happen~」



日本音楽部「箏(そう)曲演奏」



マーチングバンド部の発表

今年度は「ミラクル ~Something may happen~」というテーマの下、新たなことに挑戦し、今までにない文化祭を作りたいと考え、生徒・教職員が協力して全力で取り組みました。クラス参加企画を増やす計画を立てて臨み、文科系部活動団体を中心に六十二もの団体が参加しました。



実行委員の生徒

六百名を超える多くの方が来校し、色とりどりの企画を楽しみました。お客さまからは、「生徒が挨拶をたくさんしてくれた」「生徒の対応が素晴らしかった」との声が聞かれ、生徒たちのおもてなしの心がしっかりと伝わりました。参加した一人ひとりが個性豊かな花を咲かせて、笑顔あふれる二日間になりました。

附属女子中学校・高等学校

第三十六回聖徳祭を九月二十二日(土)、二十三日(日)に開催し、盛況の内に終了しました。

取手聖徳女子中学校・高等学校

第三十六回 聖徳祭

「花鳥風月 〜風に乗れ！聖徳なでしこ〜」

十月七日(日)・八日(月)、祝、秋晴れの爽やかな天候のもと、「花鳥風月〜風に乗れ！聖徳なでしこ〜」をテーマに「第三十六回聖徳祭」を開催し、千二百人近いお客さまにご来場いただきました。各クラスや団体が趣向を凝らした企画を展開し、受験生、近隣にお住まいの方、生徒の友人など多くの方にテーマどおり聖徳生、女子校らしい生徒たちの姿を見ることができました。さらに今年は、装飾やエリア配置を春夏秋冬がつながりをもつて感じられるよう演出しました。玄関や廊下、クラス装飾に一体感が生まれ、とても華やかで、廊下や休憩所で装飾に見入るお客さまの姿が見られ、「歩



5年C組「金だこ」



明和会と聖徳祭実行委員



演劇研究部「アラジン」

北蓼科高原体験学習

本校の中学生および高校生一年生は、九月七日(金)から十日(月)まで、本学園のセミナーハウスがすがの森(長野県佐久市)を拠点に「北蓼科高原体験学習」を行いました。

初日の学習の時間では、中学生は間伐材を再利用した材料でひのきの箸を製作しました。かんな掛けに苦労したもの、立派な箸が出来上がりました。後日漆を塗り、現在は日々の会食(給食)で使用しています。高校生は地元の話「望月の駒」にちなんだ民芸品

であるわら馬の製作に取り組みました。こちらも細かい作業の連続で、生徒たちは悪戦苦闘していましたが、地元の方の指導のかいあって、それぞれ個性的なわら馬が完成しました。

今回の校外学習は天候に恵まれず、なかなか予定通りのプログラムをこなすことができませんでしたが、わずかに晴れた三日目に農作業とバスハイクを行いました。今年のかすがの森では、夏の気候に恵まれ、糖度が大きくカボチャが大豊作でした。生徒たちは



文字通り大車輪の活躍で、収穫・ヘタ切り・磨き・梱包の作業を行い、七十八箱の大収穫となりました。これらのカボチャは本校と聖徳大学附属女子中高に急送し、会食の際に皆でおいしく頂

附属小学校

遠足はいいな

九月二十八日(金)に、全校遠足を実施しました。連日のように雨が降り続く中、この日はただけは子どもたちの願いが届いたのか、太陽が顔をのぞかせました。

今年度の遠足地は「フィールドアスレチック・ありのみコース」(千葉県市川市)です。まずは自然に親しむ集いで元気に「遠足はいいな」を大きな声で歌い、皆の気持ちを一つにしました。その後は四十種類以上のアスレチックの中からポイントを巡るオリエンタリングです。明和班(異学年でさまざまな活動を行うグループ)ごとに分かれ、全員でアスレチックに挑戦しました。これまでに学年を飛び越えて紡がれてきた絆は、



一年生を優しく補助する班長や高学年の姿にはつきりと表れていました。

オリエンタリング後の昼食では、保護者の愛情がたっぷり詰まった弁当に、自然と笑顔がこぼれます。友達と食べればおいしさ百倍。いつまでも思い出に残る味となりました。「立つ鳥跡を濁さず」を心に、きちんと片付けをした後、一、二年生は一足先に学校へ戻りました。三年生以上はお昼の後の学年活動で再びアスレチックを堪能してから大満足で学校へ帰りました。疲れていても電車の中で静けさを作るのは、さすが聖徳の子です。これからの子どもたちの成長が期待できる一日となりました。

幼稚園短信

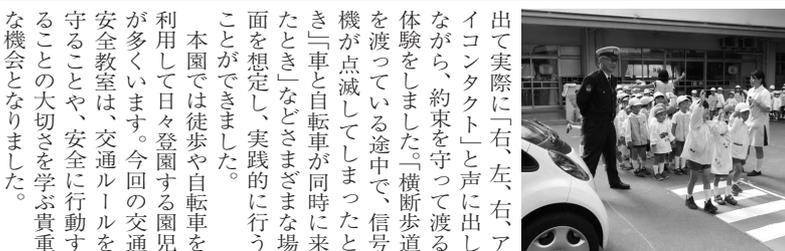
みんなの願い 交通安全

十月二十六日(金)に、年一回計画している「交通安全教室」を実施しました。身を守る大切さを知り、実体験を通して身に付けることがねらいです。

当日は、園庭の「げんき広場」(なかよし広場)に横断歩道や歩行者用信号機が設置され、いつもとは違った環境と三田警察署交通安全課の方の服装を見て、「あつまわりさんだ」「信号機だ。見たことあるね」と子どもたちが少し興奮した様子で話していました。



はじめてにDVD「はなかつぱ達と交通安全の約束」を見てから、実際に信号機の見方や横断歩道の渡り方、そして「アイコンタクト」が大切であることなど詳しく話を聞きました。アイコンタクトとは、車の運転手に対し「これから渡ります」という意味を込めて顔を合わせる動作のことです。



本園では徒歩や自転車を利用して日々登園する園児が多くいます。今回の交通安全教室は、交通ルールを守ることや、安全に行動することの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

感謝の気持ちを 伝えていきます

当園では毎年、勤労感謝の日(木)に、年長児が高尾警察署に行きました。例年はパトカーや白バイに体験乗車しますが、この日は担当の警察官の急な出勤があり、乗車はできませんでしたが、事務の方に「いつもありがとうございます」と元氣にお礼を言い、カレンダーを渡しました。

今年度は十一月十五日(木)に、年長児が高尾警察署に行きました。例年はパトカーや白バイに体験乗車しますが、この日は担当の警察官の急な出勤があり、乗車はできませんでしたが、事務の方に「いつもありがとうございます」と元氣にお礼を言い、カレンダーを渡しました。

年少児はめじろ台交番と山梨中央銀行めじろ台支店を訪ね、同行では「いらっしゃいませ」の挨拶で迎えられる、窓口のやり取りを見学しました。初対面の大人との会話に少し戸惑いが見られましたが、しっかりとお礼を言うことができました。満三歳児はめじろ台郵便局へ行き、ポストから手紙を出すことを知る良い機会になりました。

十六日(金)には年中児が京王電鉄めじろ台駅に行き、駅長から駅の仕事について話を聞いた後、皆でカレンダーを渡しました。続いて八王子消防署を訪れ、重い防護服を着たり、消防自動車に乗ったりし、火事や災害時に消防士が皆の命が守つ



めじろ台駅長にカレンダーを渡す年中児

二日間、各学年が手分けし、日ごろお世話になっている方々に「ありがとう」の気持ちを伝えました。

「いづもの国」で 秋の遠足

梅組(年中組)と桜組(年少組)で横浜にある「いづもの国」へ遠足に行きました。遠足の日が近づくとつれづれどもたちは「早く遠足の日にならないかな」「遠足まであと十日だね」と、待ち遠しそうでした。予定日はあいにくの雨で延期になりましたが、「また楽しみが増えた」とさらに期待を高めていました。

振り替え日の十月九日(火)は天気にも恵まれ、遠足日和となりました。朝から子どもたちは大きな声で「おはようございます」と元気いっばいに登園しました。「いづもの国」では、桜組は

十月十三日(土)、空にとらめつこの秋季大運動会を開催しました。「野外でできる総合的な表現活動」をねらいに「約束を守り最後まで一所懸命に頑張ります」と全園児で声をそろえて誓い、発達段階に合わせた競技や遊戯を行いました。

満三歳児はいつもと異なる雰囲気、泣いてしまう園児がいましたが、小さな身体で表現する姿に温かい拍手をいただきました。三歳児は一つひとつ踊りや運動を丁寧に、身体を動か



五歳児松組マスゲーム「サバンナ探検隊」



四歳児梅組「クラス対抗玉入れ」

また、今年度は耐震工事中の運動会を安全に気持ちよく実施することを念頭に、教職員の目標として幼稚園全体、学年、個々の育てたい園児の姿を明確にすること、約束を徹底して守ることを伝えながら日々の活動に取り組みしました。運動会実施にあたっては工事関係者にも協力いただきました。園児たちが主体的に笑顔あふれる経験ができた運動会になりました。

また、今年度は耐震工事中の運動会を安全に気持ちよく実施することを念頭に、教職員の目標として幼稚園全体、学年、個々の育てたい園児の姿を明確にすること、約束を徹底して守ることを伝えながら日々の活動に取り組みしました。運動会実施にあたっては工事関係者にも協力いただきました。園児たちが主体的に笑顔あふれる経験ができた運動会になりました。



多くの方が参加した説明会

説明会では、川並知子園長から幼稚園とはどのような所なのか、子どもの発達についてなどが語られました。主任教諭からは本園の理想の幼児像「いつもここに元気な子ども」について、日常の保育の様子についての説明がありました。保護者の方々は、メモを取るなどしながら終始真剣に聞いていました。全体説明

その後、個別に質問コーナーを利用された方も多く、園への関心の高さを感じました。

説明会後、希望者には本園の施設と保育の様子を見学していただきました。この日來園された皆さまと、来年四月の入園式で笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

聖徳大学附属幼稚園 秋季大運動会

かす楽しさを感じられるようになり、四歳児は友達と気持ち力を合わせることや、話をよく聴き約束を守る大切さに気付きました。五歳児のマスゲームでは「サバンナ探検隊」になり、学年全体で隊形変化を取り入れながらさまざまな

動物を表現し、一人ひとり考えながら友達と協力する気持ちがありました。午後は急に雨が降りましたが、みんな笑顔で参加できました。最大の成果でした。

公園が充実する市内の環境を生かして、行き先は学年ごとに変えています。満三歳児組は本園隣の「日の出第三街区公園」に、教員や友達と手をつないで歩いて

来年度本園への入園を考慮する保護者の方のための「幼稚園説明会」を十月十二日(金)に行いました。お子さまと一緒に来園された方が多く、開会中はお子さまを別室でお預かりしました。

自然環境の大切さを学びながら、戸外で友達と一緒に思い切り体を動かしたり、とても楽しい一日になりました。

初めてテニスをした園児たちも、ラケットを持った時は少し不安そうなお表情が見せていましたが、活動が終わるころには「もう終わっちゃうの?」「またやりたい」との声が上がりました。今日の活動がきっかけで、大坂選手や錦織選手のように世界で活躍する選手が生まれるかもしれません。

多く、コートが作られラケットやテニスボールが置かれた遊戯室に入ると「わあ、すごい」と歓声を上げ、活動が始まるのを待ちきれない様子でした。平木さんのほかに三名のコーチが、ラケットの持ち方やラリーやストロークなどを丁寧に教えていただきました。楽しみながら活動していると、いつの間にかラケットにボールが当たるようになり、活動の最後には親子対決やコーチ対親子で、ネットをはさみダブルス形式で打ち合いができるようになりました。園児たちも保護者の方がだんだんと真剣になり、楽しく活動することができました。

くさん見つけ、秋の自然を感じることができました。遊んだ後は、保護者手づくりの弁当を味わい満足していました。幼稚園とは違った環境で、広い場所ですくさん遊ぶことができました。

暑いくらいの陽光に恵まれ、園児たちは朝登園した時から気持ちが高まり、今日お弁当持ってきたよ、早く遠足に行きたいな」とはしゃいでいました。全員がそろい、公園に出発しました。

行きました。日ごろよく訪れる公園も皆で行くことで楽しさが増し、大喜びで遊具に乗り降り、どんぐりを探したりしました。昼食は本園の園庭で、お母さま手作りの弁当を皆うれしそうに食べました。

自然環境の大切さを学びながら、戸外で友達と一緒に思い切り体を動かしたり、とても楽しい一日になりました。

多く、コートが作られラケットやテニスボールが置かれた遊戯室に入ると「わあ、すごい」と歓声を上げ、活動が始まるのを待ちきれない様子でした。平木さんのほかに三名のコーチが、ラケットの持ち方やラリーやストロークなどを丁寧に教えていただきました。楽しみながら活動していると、いつの間にかラケットにボールが当たるようになり、活動の最後には親子対決やコーチ対親子で、ネットをはさみダブルス形式で打ち合いができるようになりました。園児たちも保護者の方がだんだんと真剣になり、楽しく活動することができました。

多く、コートが作られラケットやテニスボールが置かれた遊戯室に入ると「わあ、すごい」と歓声を上げ、活動が始まるのを待ちきれない様子でした。平木さんのほかに三名のコーチが、ラケットの持ち方やラリーやストロークなどを丁寧に教えていただきました。楽しみながら活動していると、いつの間にかラケットにボールが当たるようになり、活動の最後には親子対決やコーチ対親子で、ネットをはさみダブルス形式で打ち合いができるようになりました。園児たちも保護者の方がだんだんと真剣になり、楽しく活動することができました。

多く、コートが作られラケットやテニスボールが置かれた遊戯室に入ると「わあ、すごい」と歓声を上げ、活動が始まるのを待ちきれない様子でした。平木さんのほかに三名のコーチが、ラケットの持ち方やラリーやストロークなどを丁寧に教えていただきました。楽しみながら活動していると、いつの間にかラケットにボールが当たるようになり、活動の最後には親子対決やコーチ対親子で、ネットをはさみダブルス形式で打ち合いができるようになりました。園児たちも保護者の方がだんだんと真剣になり、楽しく活動することができました。



本園では毎年十月、各学年ごとの園外保育を行っています。十月九日(火)に、「秋の自然にふれ先生や友達と一緒に戸外の遊びを楽しむ」「公衆道徳や交通ルールを守り喜んで園外保育に参加する」というねらいの下、満三歳児組と年少組が浦安市内の公園に行きました。



遊具で遊ぶ満三歳児



ビニール風を揚げる年少児

十月三日(水)に、SEITOKUオーブンキンダーワールド「テニス入門」や「テニスボールやラケットをつかって」を行いました。今回は、世界で活躍された元テニスプレイヤーで、日本テニス協会常務理事を務める平木理化さん(聖徳大学附属第二幼稚園卒園生)を講師に迎え、年中・年長組の親子にテニスを教えていただきました。

多く、コートが作られラケットやテニスボールが置かれた遊戯室に入ると「わあ、すごい」と歓声を上げ、活動が始まるのを待ちきれない様子でした。平木さんのほかに三名のコーチが、ラケットの持ち方やラリーやストロークなどを丁寧に教えていただきました。楽しみながら活動していると、いつの間にかラケットにボールが当たるようになり、活動の最後には親子対決やコーチ対親子で、ネットをはさみダブルス形式で打ち合いができるようになりました。園児たちも保護者の方がだんだんと真剣になり、楽しく活動することができました。

聖徳大学附属浦安幼稚園 秋の園外保育

聖徳大学附属第二幼稚園 幼稚園説明会

元プロテニスプレイヤー 平木理化さんによる テニス入門

聖徳大学附属成田幼稚園 元プロテニスプレイヤー 平木理化さんによる テニス入門

募金だより

Seitoku古本募金 受付開始

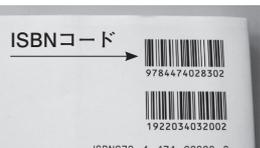
不要になった書籍で
ご寄付をお願いします!!



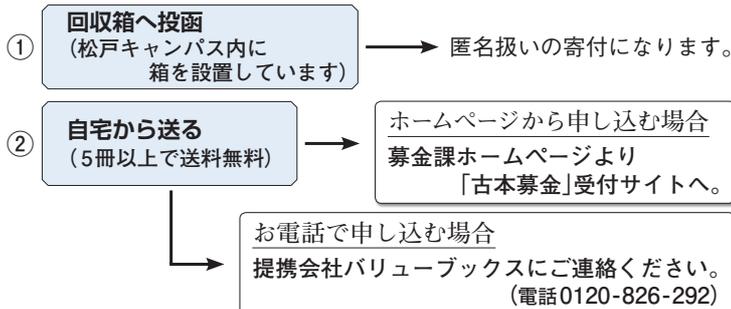
今年も残り1カ月となりました。年末の大掃除の際に、書籍の処分に悩んだことはありませんか? 今年からは、ぜひ「Seitoku古本募金」をご利用ください。「Seitoku古本募金」は皆さまの不要になった書籍の買い取り金額が寄付となる取り組みです。大学をはじめ各附属学校の図書室の充実に役立ちます。皆さまのご利用をお待ちしています。

【Seitoku古本募金 Q&A】

- Q** 本なら何でもよいのでしょうか?
- A** 書籍の裏面等にバーコード (ISBNコード) が付いたものであれば、書籍 (文庫本・小説・絵本・専門書・ビジネス書) に限らず、DVDやCD・ゲームソフトも対象になります。書籍類は線が引いてあるものや書き込みがあった場合、査定額の減額にはなりますが対象となります。



- Q** 申し込みをするには、どうすればよいですか?
- A** ①または②の方法があります。



- 香和会関係
森田 節子 様
一〇〇,〇〇〇円
- 佐野 恒子 様

平成三十年十月のご寄付分

合計	二件	一一〇,〇〇〇円
累計	二二件	二,九八八,五〇〇円

募集開始からの累計額を報告いたします。

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覧

- 法人役員関係
山口 富彌 様 (六〇〇,〇〇〇円)
 - 大学後援会関係
一〇〇,〇〇〇円
田代 和子 様
 - 教職員関係
三〇,〇〇〇円
矢島 直喜 様
 - その他
一〇〇,〇〇〇円
小野寺 尚敏 様
小松 勝子 様
富田 茂 様
五〇,〇〇〇円
加藤 茂実 様
吉田 実 様
一〇,〇〇〇円
豊田 正一 様
 - 専門学校関係
一〇,〇〇〇円
栗原 修 様
 - ひじり会関係
一〇,〇〇〇円
高橋 カツ子 様
 - 匿名希望者合計
(一、一五四,〇〇〇円)
※()内は累計額
- | | | |
|----|-----|------------|
| 合計 | 二〇件 | 一,六一六,〇〇〇円 |
| 累計 | 四五件 | 五,四四四,五〇〇円 |

ご協力ありがとうございました

平成三十年九月から十月までのご寄付分

学園創立八十五周年・川並香順先生生誕百二十年記念「聖徳教育芸術振興募金」寄付者芳名一覧

(注) 公開を希望されない方については掲載しておりません。

- ご寄付のお申し込みについて ● お電話またはホームページからお申し込みください。募金趣意書、払い込み用紙をお送りいたします。
- お申し込み・お問い合わせ先 ● 東京聖徳学園 募金課 TEL.047-365-1111(代) ホームページアドレス <http://www.seitoku.jp/bokin/>

今年度の支那総会・保護者を九月から十一月にかけて各地で開催し、大学および短大の多くの保護者の方に出席いただきました。後援会支部総会および保護者会は、北海道から九州・沖縄まで全国十一支部で毎年行っています。午前中の支部総会では学長講話や卒業生による体験発表、午後の保護者会では教員との個別面談を行っています。体験発表は、卒業生の生の声を聞くことができると毎年多くの反響をいただいています。今回は十月に実施した支部総会・保護者会



吉本幸恵さん



深澤友里絵さん

の中から二名の卒業生の発表を紹介いたします。吉本幸恵さん(北関東支部、平成三十年三月音楽学部音楽総合学科卒業)は、沼田市の公立中学校で音楽教員として勤務、教員になりたい」という気持ちで、中学校と小学校での教育実習に行つてさらに大きくなったことや、大学の授業で学んだ教育方法が現場で生かされていることなどを語りました。後輩に向けては、「学生をサポートする施設である図書館やラーニングデザインセンター、語学教育センターを積極的に利用してほしい。困ったことは先生方に相談してほしいと思いますし、就職についてはキャリア支援課で相談することをすすめます」

と話し、最後に、「私が採用試験に合格できたのは皆さまの支えのおかげ」と締めくくりました。

深澤友里絵さん(静岡県支部、平成二十九年三月児童学部児童学科卒業)は、現在、下田市立の認定こども園で四歳児を担任。在学中は学生寮での生活で、他学部・学科の学生や先輩とも仲良くなれ、今では一生の友人として良い相談相手になっているとのこと。附属幼稚園での教育実習は大変だったが、実習日誌・指導案の書き方、実習生としての態度や心構え等細かく指導してもらえた。さらに小学校、保育所、乳児院などで実習を行い、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭の三つの免許、資格を取得。就職活動では、いろいろな教員に面接の練習をしてもらい、さまざまな質問にも肩の力を抜いて臨機応変に答えられるようになったとのこと。最後に後輩に向けて、「人生で一度の学生生活を悔いのないように楽しんでほしい」と話していました。出席された保護者の方からは、「娘のサポートの参考になった」「今後もぜひ続けてほしい」との声が多数寄せられています。

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 26

第24回 関東大学女子駅伝対校選手権大会 第23位



全日本大学女子駅伝対校選手権大会の地区予選を兼ねた第24回関東大学女子駅伝対校選手権大会が9月30日(日)に開催され、印西市の千葉ニュータウン周回コース(6区間、29.9キロ)で26チームによる熱戦が繰り広げられました。

本学は4年連続出場の前早乙女キャプテン(児童学部4年)を中心とした布陣で臨みましたが最初の出遅れを取り戻すことができず、不本意な結果となりました。

しかし、ゴールまで諦めないその力走は、次の世代への禪となって繋がれていくと信じています。

今後は新キャプテンの藤崎選手(人間栄養学部2年)を中心にチームの立て直しを図り、新たな目標に向かって日々精進していく所存です。

文末ながら、当日は休日にもかかわらず、また雨の中を多くの関係各位にご足労いただき、熱いご声援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

今後も相変わりませぬご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。
(陸上競技部監督 佐藤 信春)

大会結果はホームページをご覧ください。
詳細は聖徳大学陸上競技部HP <http://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page6>

平成31年度 大学院(春学期入学)入試日程

聖徳大学大学院通学課程(共学/昼・夜開講)

〈博士前期課程〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, 社会人特別入試, 内部推薦入試.

※音楽文化研究科研究生入試については1日のみ実施する。

〈博士前期課程〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, 社会人特別入試, 内部推薦入試, 研究生入試.

※音楽文化研究科研究生入試については1日のみ実施する。

〈修士課程(看護学研究科)〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, 社会人特別入試, 内部推薦入試.

〈専門職学位課程(教職研究科)〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試, 内部推薦入試.

平成31年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)(AO入試)

Table with columns: 入試区分, 日程, 事前エントリー受付期間. Includes categories like AO入試, 大学・短大方式.

〈推薦入試〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes category like 公務推薦入試.

〈社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 社会人入試, アスリート入試, 帰国子女特別入試.

※看護学部は、社会人特別入試B日程のみ実施する。

〈留学生入試〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 私立留学生特別入試, 私立留学生特別奨学生入試.

※編入入学入試については、学士入試、社会人特別入試、アスリート・セカンドキャリア支援特別推薦入試も実施

〈編入学・専攻科入試〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, 内部推薦入試.

〈一般入試〉

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 一般入試, センター試験利用入試, 実技特別選抜入試.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)(前期・後期入試)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like AO入試, 指定校推薦入試, 公務推薦入試, 一般入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 第1回入試, 第2回入試, 特待生選考入試, 第3回入試, 推薦入試, 自己推薦入試, 特別S探究入試, 一般入試.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like 第1回一般入試, 英語入試, 適性検査型入試, 第2回一般入試, 第3回一般入試, 第4回一般入試, 推薦入試, 併願推薦入試.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes categories like Ⅲ期入試, Ⅳ期入試.

★詳細は、各校の入学試験要項(募集要項)でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学)

●お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

聖徳大学通信教育部 入学説明会のご案内

聖徳大学通信教育部では、大学院・大学・短期大学部すべてにおいて、入学説明会を開催しています。通信教育での学習の仕方や皆さんが疑問に思われていることについて、直接お答えします。予約は不要です。ぜひ、ご都合の良い日程の説明会にご参加ください。

本学キャンパスでの説明会では、在学生・卒業生の体験談、スクーリング模擬授業、キャンパスツアーなども実施しています。開催日ごとに内容が異なりますので、詳細はホームページ「NEWS」でご確認ください。

◇聖徳大学主催 入学説明会

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Includes dates like 12月2日(日), 1月13日(日).

◇聖徳大学主催 入学説明会(個別相談)

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Includes dates like 12月8日(土), 12月15日(土), 12月16日(日), 12月22日(土), 12月22日(土).

※お車のご来場はご遠慮ください。 ※個別相談は終了時間の30分前までに入場ください。 ※大学院博士後期課程をご希望の方は事前にお問い合わせください。 TEL.047-365-1200(月～金 8:30～17:30, 土 8:30～15:00)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

●お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス ▶12月16日[日] 10:00～ ▶平成31年1月19日[土] 14:00～ ▶2月17日[日] 10:00～ ナイトキャンパスツアー ▶12月4日[火] 18:30～ ▶平成31年1月17日[木] 18:00～

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

●お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会[高校] ▶12月8日[土] 9:30～(音楽科) [中学校] ▶12月15日[土] 9:30～(ミニ説明会) ▶平成31年1月6日[日] 9:30～ ▶3月17日[日] 9:30～

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実をめざりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市水岩550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで(インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第99号 発行人 川並弘純 編集/総務課

この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 18.12.1 re(14.05)

新入試制度相談会[高校] ▶12月8日[土] 9:30～ 個別相談会[高校] ▶12月8日[土] 9:30～ [中学校] ▶12月15日[土] 9:30～ [中高共通] ▶12月22日[土] 9:30～13:00 ▶12月23日[日・祝] 9:30～13:00 [中学校] ▶平成31年1月6日[日] 9:30～ ▶3月17日[日] 9:30～(小学校4・5年生対象) 音楽科冬季講習会[高校] ▶12月25日[火]～27日[木] 9:00～

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

●お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

入試説明会 ▶12月8日[土] 13:30～15:30 音楽講習会 ▶12月25日[火] 9:30～15:00 学校説明会 ▶平成31年2月16日[土] 9:30～(小学校4・5年生、中学1・2年生対象) ▶2月23日[土] 9:30～(小学校4・5年生、中学1・2年生対象) ▶3月9日[土] 9:30～(小学校4・5年生、中学1・2年生対象)

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート 長野県佐久市春日 2258-1 かの森

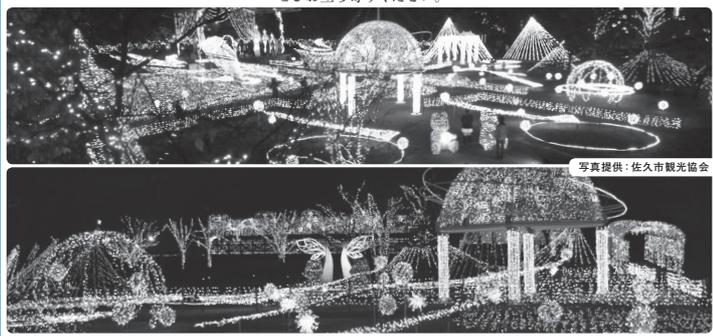
ご予約はお電話にて 電話: 0267-52-2111 宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。 http://www.kasuganomori.com/

SAKU BLOOM イルミネーション2018のご紹介

開催日時: 平成30年11月3日(土)～平成31年1月26日(土) 開催場所: ミレニアムパーク(佐久平駅駅口隣) 点灯時間: 午後5時～11時

佐久の冬の風物詩として定着している「SAKU BLOOM イルミネーション」。今年のテーマは「愛」です。

長野県内でも最大規模となる約50万球のLED電球で、佐久の美しい星を表現した幻想的な空間を演出します。ぜひお立ち寄りください。



写真提供: 佐久市観光協会

セイトク®派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913